

2012年
新春号

さざんかの郷 福祉情報誌 ほのぼの生活

発行 高齢者総合福祉施設「さざんかの郷」三木市吉川町大沢418番地 TEL.0794-72-1170



初日さす 硯の海に 波もなし

月日が経つのは早いもので、今年も早やお正月をむかえます。

一年の始まりに、大地に付ける第一歩を踏み出すとき、いつも新たな気持ちで今年の抱負を考えますが、何よりも、高齢者はもとより、施設が行う事業を利用される全ての人々の、笑い声や笑顔の絶えない憩いの場づくりと、温もりの感じられる生活環境の充実を継続させて参りたいと考えています。

そして、また今年も、利用される人々と職員の、夢や希望を含め、「さざんかの郷」という新しい和紙に色々な絵を描いていきたいと思います。

更に信条はいつも同じです。
「いたわり慈しみ思いやり 相手の立場で考える」
今年も昨年に変らず、ご指導を心よりお願い申し上げます。

平成24年 元旦



社会福祉法人 吉川福祉会
高齢者総合福祉施設さざんかの郷
理事長(施設長) 西澤正一

特養ユニット Cooking Recreation

お好み焼きを ジュージュー!!



ユニット特養の調理場において、利用者さんと職員でお好み焼きとポテトサラダを作りました。利用者さんには、お好み焼きの粉をこねてもらい、最後焼いてもらったり、ポテトサラダ用のきゅうりを切って塩もみをしてもらいました。焼き上がるのが待ちきれず、つまみ食いをされていた利用者さんもおられました。いざするとなると大変でしたが、みなさんの喜ばれている姿が見られたので、本当に良かったと思います。次回の調理レクリエーションは、シチューと出し巻き卵に挑戦!!?



次回も利用者さんの笑顔が見れますように。

恭賀新年

輝かしき新年を迎
謹んでご一同様の
ご清福をお慶び
申し上げます



旧年中は法人の事業に聞く一方ならぬご支援とご協力を賜り、お陰をもちまして施設運営の基盤固めや事業拡張を図ることができましたこと、深く感謝申し上げます。

本年も一層の利用者サービスの向上をめざして、社会福祉法人「吉川福祉会」の役員一同努力することを誓っております。

今後とも何卒皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成24年 元旦



社会福祉法人 吉川福祉会
会長 大末祥雄
法人役員一同

寿 ~満100歳~



ご本人が自宅で過ごしたいと望まれ、ご家族がその願いを叶えようと奮闘され、富依、西辺、その頑張りを介護サービス事業者が応援し続ける中で、満100歳のお誕生日を迎えられました。Tさんは調子の良い時は自力で摂食され、笑顔で会話もされます。ホームヘルパーとして、利用者が望まれる生活のお手伝いができるることは、大変幸せなことです。Tさんと一緒に写っている2人は、11月よりホームヘルパーとして頑張っていますのでご紹介いたします。

11月から、ホームヘルパーとして勤務させていただくことになりました。「家に住み続けたい」と願う高齢者の方の援助を、私自身もお年寄りと共に笑顔を忘れず努力していきたいと思います。

富依 春美

訪問介護は初めてなので、色々とお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

西辺 未来

こここのせんたく 「事ある時は仏の足を戴く」

異変が起きて、自分ではどうしようもできないような危機が迫ると、日頃いくら不信心な者でも、その時は仏の足もとに伏して救いを求めるということ。

小規模多機能居宅介護事業所

「コミュニティウインドさざんか」



素晴らしい新春の幕を開ける事が出来ました。「コミュニティウンドウさざんか」では、初めてのお正月を迎えます。今年の目標として、レクリエーションでは遊びだけでなく、体操にも力を入れ、よりよい環境と生活支援に一層努めて参ります。今年もさらに楽しい時間を一緒に過ごしていきましょう。見学ご希望の方は、いつでもお気軽にお立ち寄りください。職員一同お待ちしております。



デイサービス(本館)

秋のバス旅行

デイサービス本館では、11月22日(火)24日(木)に秋のバス旅行で新開地劇場に行ってきました。バスの道中はみんなで懐かしい歌を歌ったり、色付きかけた紅



葉を見ながら楽しく過ごしました。観劇ではとても男性が女形になっているとは思えないほどの美しさに、皆さん見とれておられましたヨ。



球根植え



レクリエーションでは、スコップで土を掘り、肥料を入れて利用者の指導を受けながら、たくさんの球根を植えることが出来ました。来春きれいな花が咲くのが楽しみですね。



今年は辰年!!

デイサービスの玄関にはこんな立派な利用者の作品が新年をお祝いしております。



ボランティア クラブ 「うたごえ倶楽部」初来園!!



歌を通じて地域に潤いをもたらしていきたいと始めた「うたごえ倶楽部」のみなさんが、初めて来園されました。



独自の歌詩集を見てもらいました。大きな声での大合唱となりました。今後は毎月来られますので、本当に楽しみです!!

さざんかデイサービス

笑いと感動とやすらぎの空間づくり

秋の遠足 -フルーツフラワーパーク-

みんなでお弁当を食べた後、子供に戻つて「メリーゴーランド」や「チューチュートレイン」に乗り、みんな大はしゃぎで終始楽しい時間をお過ごしました。



タイムスリップ映画会「銀座カンカン娘」

初めての試みとして、「タイムスリップ懐かしの白黒映画会」を2日間行いました。ミュージカル映画「銀座カンカン娘」に、みなさん口ずさみながら、当時の世界に入り込んでおられました。次回をお楽しみに!!



トライやるウィーク 吉川中学校 2年生 2名



「トライやるウィーク」の時期となり、今年はどんな子が来てくれるのかとみんな楽しみにしていたところ、「福祉の体験がしたいんです!!」という将来が楽しみな2名の中学生が来てくれました。さざんかの郷の体験メニューは日替わりで、いろんな事業所を体験してもらいましたが、笑顔と元気をふりまいて本当に頑張っていました。大変だったと思いますが、この体験を少しでも生かして、これからも頑張ってくださいね。



交通事故防止キャンペーンに

今年も参加・協力!!



平成23年12月2日(金)

11:00～12:00

中国自動車道赤松パーキングエリアにおいて、行き交う人に交通事故防止・安全運転の呼びかけを行いました。

共催機関：兵庫県警察本部高速道路交通警察隊・NEXCO西日本神戸管理事務所・高齢者総合福祉施設「さざんかの郷」【利用者・ボランティア「かりんの会】NPO法人「ゆずり葉福祉会」・【兵庫県地域安全グループ】

在宅介護支援センター

吉川町では2年振りに民生児童委員・民生児童協力委員の方々との連絡調整会議を行っています。目的は災害時の要援護者の救助に役立てるのが主ですが、自分達の地域を自らが見守っていきましょう。という共助の意識を高めていく事にあります。最近の話題として訪問販売と不信な車の目撃情報がありました。いづれも日常的に繰り返されています。同居家族といつても会話が十分にあるとは限らないし、高齢者のみの世帯や一人暮らしの世帯ではなおさら周囲の見守りが必要不可欠です。地域の諸問題の解決においても住民の理解と協力が必要です。

その住民一人一人が地域の力なのですね。

浴室改造(共同募金)

共同募金配分金を頂き、ケアハウスの浴室を改造致しました。現在では手すりを取り付け、衛生的にも良くなり、安全性を確保した上で、安心して入浴して頂いております。今回の共同募金配分金による浴室改造に対して、入所者、職員共々大変感謝しております。本当にありがとうございました。



配食サービス

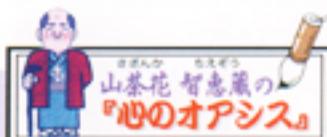
利用者の声

「一人暮らしになって一番困っていたことは、毎日の食事と栄養だったのですが、お弁当を食べるようになって、バランスのとれた食事とその美味しいおかずが楽しみとなり、食欲も湧いてきて本当に良かったと感謝しています。今は週3回の夕食だけですが、夕方になると今か今かと楽しみになっています。できれば毎日あればいいのですが、自分で作るのは作れないで、今まででも有難く思っています。これからもよろしくお願ひいたします。」



お問い合わせ

さざんかの郷 在宅介護支援センター 電話:72-1170



「ありがとう」

を多く言うとストレスが少なくなる

個人主義の国と言われているイギリスですが、日頃会話の後に「キュッ」といってその後にっこりすることが日常となっているそうです。「キュッ」とは「サンキュー（ありがとう）」のこと。デパートで買い物をしても、駅で切符を買っても「キュッ」、家庭の中でもものを頼むときは「ブリーズ（どうぞ）」、何かをしてもらったら「サンキュー（ありがとう）」そして必ずニッコリと微笑みを添える。そのことを子供にもしっかりと親が手本となってしつけているとのこと。この「サンキュー（ありがとう）」・「ブリーズ（どうぞ）」・「エクスキューズ・ミー（ごめんなさい）」の3つの挨拶こそ、英国ジェントルマンシップを象徴する言葉だといわれています。個人主義の国だからこそ、相手の人間性を尊重する大切さを知っているのです。マナーとは、自分がしてほしいことを他人のためにし、自分がされたら嫌なことを避けることの、他ならない互いの心の健康法といえます。

日本において最近は、「どうも」というだけで「ありがとう」と言ったつもりでいる人が多いようですが、やはり言葉に出して「ありがとう」といったほうが、うれしい気持ちがちゃんと伝わるし、できればその後ニッコリ微笑みを添えることは、今のご時世本当に大切なことではないでしょうか。言葉はかけ算に似ているといわれており、かけ算においてどんなに大きな数字でも最後にマイナスをかけるとマイナスになってしまいます。現在のストレス社会をそれぞれが個々乗り切っていくためにも、日々1回でも多くの「サンキュー（ありがとう）」・「ブリーズ（どうぞ）」・「エクスキューズ・ミー（ごめんなさい）」と、そしてあとにニッコリ微笑みを添える習慣を身につけていってはいかがでしょうか。

「優しい言葉は、たとえ簡単な言葉でも、ずっとずっと心にこだまする。」 一マザー・テレサ

ケアハウス

今年も毎年恒例の1泊旅行で、福井県の小浜へ行きました。道中は色づき始めた紅葉を見ながらドライブ気分で目的地まで♪



夜の宴会では豪華にカニ・フグ料理をたっぷりと頂きました。「もうお腹いっぱいだわ」と言いながらも出てきた料理はしっかり頂き「お腹いっぱいでも食べてしまうな」と冗談を言いながら本当に楽しいひとときを過ごしました。また来年もみんなで行けたらいいですね！！



管理栄養士 湘ちゃんからのメッセージ



11月17日、平井みそグループより半兵衛みそを一樽(30kg)頂き、代表してケアハウスの入居者さんに受け取ってもらいました。

「お豆をたくさん使ったお味噌なので発酵がすんで独特的の色合いとなっており、赤穂の塩やうまみとして昆布を細かく切ったものも入っています」と教えてくださいました。早速、その日の夕食のお味噌汁に使わせて頂き、みなさん「おいしいなあ～」と召し上がっておられました。大切に使わせて頂きます。本当にありがとうございました。

